

敦賀市議会

# 議会だより

9月  
定例会

## CONTENTS

|                |       |
|----------------|-------|
| 審議結果一覧         | 2     |
| 賛否が分かれた議案一覧    | 2     |
| 意見書の提出         | 3     |
| 常任委員会審査報告      | 4～7   |
| 行政視察報告         | 8     |
| 特別委員会中間報告      | 9～10  |
| 一般質問           | 11～15 |
| 議会日誌、12月定例会の日程 | 16    |



◀おぼろっく会場周辺の様子

## おぼろっく 2024 TSURUGA MUSIC FESTIVAL 開催！！



▲写真は、9月15日にきらめきみなと館で行われた  
4人組バンド「ブッシュプルボット」のステージ（小坂淳氏提供）

音訳（CDに録音）された議会だよりもありますので、ご希望の方は社会福祉協議会（電話 0770-22-3133）までご連絡ください。

## 審 議 結 果 一 覧

9月6日から10月9日まで開催された令和6年第3回定例会では、議案14件、報告議案7件、議員提出議案（B議案）3件、請願1件を審議しました。

| 議案番号   | 件 名                                                             | 付託委員会 | 審議結果     |
|--------|-----------------------------------------------------------------|-------|----------|
| 第52号議案 | 令和6年度敦賀市一般会計補正予算（第4号）                                           | 予算決算  | 10/9 可決  |
| 第53号議案 | 敦賀市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正の件                                       | 文教厚生  | 10/9 可決  |
| 第54号議案 | 敦賀市国民健康保険条例の一部改正の件                                              | 文教厚生  | 10/9 可決  |
| 第55号議案 | 敦賀市空き家等の適切な管理に関する条例の一部改正の件                                      | 産経建設  | 10/9 可決  |
| 第56号議案 | 敦賀市こどもの国（屋内プレイエリア）リニューアル展示設計・製作業務委託契約の件                         | 文教厚生  | 10/9 可決  |
| 第57号議案 | 元咸新小学校解体工事請負契約の件                                                | 文教厚生  | 10/9 可決  |
| 第58号議案 | 令和5年度敦賀市歳入歳出決算認定の件                                              | 予算決算  | 10/9 認定  |
| 第59号議案 | 令和5年度市立敦賀病院事業決算認定の件                                             | 予算決算  | 10/9 認定  |
| 第60号議案 | 令和5年度敦賀市水道事業利益剰余金処分の件                                           | 産経建設  | 10/9 可決  |
| 第61号議案 | 令和5年度敦賀市水道事業決算認定の件                                              | 予算決算  | 10/9 認定  |
| 第62号議案 | 令和5年度敦賀市下水道事業利益剰余金処分の件                                          | 産経建設  | 10/9 可決  |
| 第63号議案 | 令和5年度敦賀市下水道事業決算認定の件                                             | 予算決算  | 10/9 認定  |
| 第64号議案 | 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める件                                          | —     | 10/9 同意  |
| 第65号議案 | 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める件                                          | —     | 10/9 同意  |
| 報告第13号 | 専決処分事項の報告の件（令和6年度敦賀市一般会計補正予算(第3号)）                              | —     | 9/6 承認   |
| 報告第14号 | 専決処分事項の報告の件（損害賠償の額の決定及び和解）                                      | —     | 9/6 報告のみ |
| 報告第15号 | 継続費精算報告の件（令和5年度敦賀市一般会計）                                         | —     | 9/6 報告のみ |
| 報告第16号 | 継続費精算報告の件（令和5年度敦賀市水道事業会計）                                       | —     | 9/6 報告のみ |
| 報告第17号 | 健全化判断比率の報告の件                                                    | —     | 9/6 報告のみ |
| 報告第18号 | 資金不足比率の報告の件                                                     | —     | 9/6 報告のみ |
| 報告第19号 | 公立大学法人敦賀市立看護大学の令和5年度業務実績及び第2期中期目標の期間の終了時に見込まれる業務実績に関する評価結果の報告の件 | —     | 9/6 報告のみ |
| B議案第5号 | 敦賀市議会ハラスメント防止条例制定の件                                             | 議会運営  | 10/9 否決  |
| B議案第6号 | 「北陸新幹線の早期全線開業を求める意見書」提出の件                                       | —     | 10/9 可決  |
| B議案第7号 | 敦賀市議会のハラスメント防止に関する決議の件                                          | —     | 10/9 否決  |
| 請願第2号  | 訪問介護の基本報酬の引き下げ撤回と介護報酬の引き上げの再改定を早急に行うことを求める請願                    | 文教厚生  | 10/9 不採択 |

## 賛否が分かれた議案一覧

賛成・反対の双方があった議案等については以下のとおりです。(賛成：○、反対：×、欠席：欠)

| 議案番号   | 会派名<br>議員名 | 市政会      |          |          |          |          |          |          | 市民クラブ    |          |          | 日本共産党<br>敦賀市会<br>議員団 |          | 公明党     |         | 峻正会       |          | 無<br>所<br>属 | 無<br>所<br>属 | 無<br>所<br>属 |          |          |          |
|--------|------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------------------|----------|---------|---------|-----------|----------|-------------|-------------|-------------|----------|----------|----------|
|        |            | 河瀬<br>太治 | 高城<br>庄佑 | 縄手<br>博和 | 川端<br>耕一 | 浅野<br>好一 | 大石<br>修平 | 中野<br>史生 | 田中<br>和義 | 馬淵<br>清和 | 有馬<br>茂人 | 山本<br>武志             | 豊田<br>耕一 | 今川<br>博 | 松宮<br>学 | 山本<br>貴美子 | 中道<br>恭子 | 大塚<br>佳弘    | 三田<br>村峻    | 北條<br>正     | 吉田<br>隆昭 | 籠太<br>一朗 | 橋本<br>彬穂 |
| 第54号議案 |            | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        | 議長       | ○        | ○        | ○        | ○        | ○                    | ○        | ×       | ×       | ○         | ○        | ○           | ○           | ○           | ○        | ○        | ○        |
| 第58号議案 |            | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        |          | ○        | ○        | ○        | ○        | ○                    | ○        | ×       | ×       | ○         | ○        | ○           | ○           | ○           | ○        | ○        | ○        |
| B議案第5号 |            | ×        | ×        | ×        | ×        | ×        |          | ×        | ×        | ×        | ×        | ×                    | ×        | ○       | ○       | ×         | ×        | ○           | ○           | ○           | ○        | ○        | ○        |
| B議案第6号 |            | ○        | ○        | ○        | ○        | ○        |          | ○        | ○        | ○        | ○        | ○                    | ○        | ×       | ×       | ○         | ○        | ○           | ○           | ○           | ○        | ○        | ○        |
| B議案第7号 |            | ×        | ×        | ×        | ×        | ×        |          | ×        | ×        | ×        | ○        | ○                    | ○        | ○       | ○       | ×         | ×        | ○           | ○           | ○           | ○        | ○        | ○        |
| 請願第2号  |            | ×        | ×        | ×        | ×        | ×        |          | ×        | ×        | ×        | ×        | ×                    | ×        | ○       | ○       | ×         | ×        | ○           | ○           | ○           | ○        | ○        | ○        |

※議長は採決に加わっていません。

## 意見書の提出

議会提出議案として提出された意見書案が賛成多数で可決され、国会及び関係省庁に意見書を提出しました。

### ◎北陸新幹線の早期全線開業を求める意見書（要望事項のみ抜粋）

- 1 敦賀・新大阪間の環境影響評価および北陸新幹線事業推進調査を迅速かつ着実に進めるとともに、令和6年末までの駅位置・詳細ルート公表および令和7年度には認可・着工を行い、一日も早い全線開業を実現すること。
- 2 貸付料の算定期間延長や国費の大幅な増額等により整備財源を確保するなど、着工5条件の早期解決を図り、開業までの期間を最大限短縮すること。
- 3 JR小浜線は特急が運行されておらず、また、新幹線開業により旅客輸送量が著しく低下する路線ではないため、敦賀・新大阪間の整備に伴う並行在来線には該当しないことを明確にすること。

議会運営委員会

〔B議案第5号〕

敦賀市議会ハラスメント防止条例制定の件

質疑

問 B議案提出までのプロセスに関して、事前に各派代表者会議や議会運営委員会等で検討するなど、従前の方法に沿ったやり方も可能であったと思うが、どのように考えているのか。また、賛成者が2名だけである理由についても伺う。

答 事前に、合意を完全に得るのがルールではないと認識している。また、提出者、賛同者は、定足数を満たしており、なるべく早く提出したいという思いから議案提出に至った。

問 第5条第2項に関して、ハラスメントの事実関係把握のための第三者委員会等を設置せず、議長は専門的な知識や経験を有する者に調査を行わせることができるという規定にした理由について伺う。

答 議員という職責を考慮したとき、

第三者委員会に最終的な判断を委ねるのではなく、例えば弁護士等に情報を集めてもらったり、一定の資料を作成していただくことはあったとしても、最終的には議長による判断というのが、議員にとって公平な選択というふうに考えたためである。

問 条項についてもっと議論を深め、膨らみを持たせる必要があると考える。協議をしていくなかで、継続審査や修正に関する意見等が出てきた場合には、そういった動きに対して理解を持てるかどうか伺う。

答 仮に本条例案が通らずとも、何らかの形でハラスメント条例が制定され、一刻も早くハラスメントがなくなるこれが目的である。そのため、本条例そのものに固執しているわけではないため、今後あらゆる手段で議論されていくことに対して否定するものではない。

討論

反対 ハラスメント被害を受けた方の相談窓口の設置、調査対応措置の手続きのルール等について、もっとしっかり議論をつくした上で決定すべきと考える。

賛成 本条例制定をスタートとし、こ

れからの敦賀市議会の在り方について、ハラスメント防止という視点から取り組んでいくべきと考える。

採決 賛成少数

原案について認めないものと決定

予算決算  
常任委員会

〔第52号議案〕

令和6年度敦賀市一般会計補正予算第4号

質疑

◎こども計画策定事業費

問 子どもや若者の意見を計画に反映させるためのウェブアンケートやワークショップについて、対象者及び人数について伺う。

答 ウェブアンケートについては、16歳から34歳の市民を対象に、ランダムに抽出した3000名に調査依頼書を郵送し、スマートフォン等で回答いただく予定である。また、ワークショップについては、30名程度の小中学生を対象とし、参加者を募集する予定である。

問 今回、国の方針に基づきこども計画を策定するにあたり、国の補助金等は受けられるのか。

答 こども計画については、こども基本法において、国のこども大綱や県のこども計画を勘案し定めることが努力



義務とされていたため、本市では当初、今年度の策定を予定しておらず、県の

ことも計画策定を見極めることを考えていたが、5月に国から計画策定のガイドラインが示され、早い段階で取り組む必要があると判断し、策定を決めた。

国のことも政策推進事業費補助金に関しては、今年度分の申請は令和6年1月に事前協議を締め切っているため、市の単独事業として策定する予定である。

#### 自由討議

今回行う調査を礎として、さまざまな課題を抽出した上での計画となるよう、策定に向けて取り組んでほしい。

### 質疑

#### ◎子ども医療費助成費

**問** 受給資格者証発行対象者数及び財源について伺う。

**答** 受給資格者証発行対象者数については、令和6年4月1日時点の高校3年生相当までの子どもは約9300人であるが、他制度の助成利用等による実際の発行は約8600人を見込んでいる。財源について、子ども医療費助成は県の補助金を活用しているが、小学生以上の自己負担の廃止に伴う増額

分は対象外のため、全額、市の一般財源を予定している。

#### ◎北陸新幹線敦賀開業プロモーション事業費

**問** ほかに地元元の民間放送局がある中で、番組制作を福井テレビに委託することでのどのようなメリットがあるのか。

**答** 制作予定の旅番組については、本市の単独費用ではなく福井テレビ側も費用負担いただき共同制作となるので、本市の負担が低減できること、また、福井テレビを通じて、埼玉県で99%のカバー率を有するテレビ埼玉で放送できることがメリットと考えている。

#### ◎海浜公園管理事業費

**問** 自動ゲートを設置する東浦地区海浜緑地公園の位置及び駐車場の管理者について伺う。

**答** 東浦地区海浜緑地公園は、鞠山、田結、赤崎の3地区にまたがって位置しており、今回は、赤崎の海浜緑地公園の駐車場入口に自動ゲートを設置する。この海浜緑地公園は、いずれも県が整備し、市が維持管理を受託し、さらに市と地元が覚書を交わし、地元が

管理を行っている。今回ゲートを整備する赤崎の海浜緑地公園については、赤崎地区が管理を行っている。

**問** 赤崎地区が管理しているとのことだが、管理費は市が負担しているのか。また、他の地区にはゲートを設置しないのか。

**答** 現在、市から赤崎地区に対して管理費の補填は行っていない。また、他の2地区に確認したところ特に希望はなかったため、赤崎地区以外で、新たに自動ゲートを設置する予定はない。

#### ◎立地適正化計画改定事業費

**問** この時期に補正予算計上に至った理由を伺う。

**答** 福井県が策定する敦賀都市計画区域マスタープランについて、家屋倒壊等氾濫想定区域を居住誘導区域から除外する方針を示した改定案の縦覧が本年6月に行われた。この改定案を受け本市では、7月1日開催の立地適正化計画策定委員会において、家屋倒壊等氾濫想定区域を災害リスクの高い地域として居住誘導区域から除外する計画改定方針を御理解いただき、今回の予算計上に至った。

**問** 今回計上された予算の委託料の範囲と内訳について伺う。

**答** 業務内容としては、今回の改定に伴う立地適正化計画全体の修正、改定の概要を周知するための住民説明会の運営支援、改定案を諮るための会議資料や関係機関との打ち合わせ資料の作成、改定した計画書の印刷製本の4つである。

#### ◎学校体育館空調設備導入検討事業費

**問** 小学校の3校の体育館、中学校の2校の体育館を抽出して調査することだが、どの体育館を想定しているのか。またなぜ調査する対象数を3校と2校としたのか。

**答** 調査対象の体育館は今後、条件を整理した上で決定する予定である。市内には小学校と中学校合わせて15の体育館があり、すべての体育館を調査すると費用が高額になるため、3分の1の5か所について、それぞれ大きさ等の異なる体育館を抽出して調査することにより、全体のコストや方式を把握できるのではないかと考えている。この数とした。

**問** 体育館に空調を整備する場合、建

物の断熱性の確保が大きく起因すると考えるが、その調査も行うのか。

**答** 本市の小中学校体育館の多くは、建設から40年以上経過しており、断熱性確保のための改修も行っていないため断熱性は低いと考える。今回の調査の中で、断熱性確保工事の工法や費用、イニシャル・ランニングコストへの影響も確認し、断熱性確保工事を実施するかどうかも含めて対応を検討したい。

**自由討議** 熱中症のリスクの高まりや災害時のことを考えると進めていくべき。

## 質疑

### ◎運動公園管理運営費

**問** 修繕の対象となる和式トイレの数及び修繕の詳細について伺う。

**答** 運動公園体育館には現在、男女合わせて42個の大便器があり、うち25個が和式である。今回は、25個のうち21個の和式便器を洋式に取り替えるとともに、扉の開く向きの変更に伴うパージションの取替及び、洗浄つき便座設置に伴う電源の引き込みを行う。

## 採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

## 決算認定

第58号議案令和5年度敦賀市歳入歳出決算認定の件ほか3件の決算案件についていずれも認定すべきものと決定した。

## 産経建設 常任委員会

### 〔第55号議案〕

敦賀市空き家等の適切な管理に関する条例の一部改正の件

## 質疑

**問** 条例を改正することによって、空き家が改善されたり、周囲に迷惑をかけることが少なくなったりするのか。

**答** 今回の条例改正は、特措法の改正に伴うもので、条例で独自に定義している長屋や共同住宅に対しても同様に取り扱うことを規定させていただいたところである。

改正の中で「管理不全空家等」について定義しているが、これは、特定空家になる恐れのある、もう一段階前の

ものを管理不全空家として認定し、それに対しても指導していくための枠組みができたものである。このことにより、特定空家となる前の段階から周りに迷惑をかけないようにしようという点において、より実効性があるものと考えている。

## 採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

## 文教厚生 常任委員会

### 〔第53号議案〕

敦賀市子ども医療費の助成に関する条例の一部改正の件

## 質疑

**問** 対象が高校3年生相当までということで、事情により卒業が遅れる高校生もいると思うが、この場合も無料になるのか。

**答** 対象が18歳に達する年の年度末までのため、卒業が1年遅れる場合は高校3年生であっても対象とならない。

## 反対討論

**反対** 子ども医療費の無料化について

は、たくさんの方が長年求めてきたことであるため、速やかに実行されることを願う。

### 賛成

段階的に年齢が引き上げられており、安心した子育て環境につながると思うので賛成したい。

## 採決 全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

### 〔第54号議案〕

敦賀市国民健康保険条例の一部改正の件

## 質疑

**問** 改正前の条文に、被保険者証の返還を求められてこれに応じない場合においては、5万円以下の過料を科するとあるが、これまでそういった事例はあるのか。

**答** 過去5年間でそういった事例はない。

## 反対討論

**反対** 全国の医療機関7割の方が保険証の廃止に反対をしている中で、保険証の廃止を前提とした今回の条例改正には反対したい。

**賛成** マイナ保険証の導入によるメリットが多くある。保険証は廃止日から最長１年間有効であり、マイナ保険証を保有していない方についても資格確認書が交付されるということなどの措置もあるため賛成したい。

## 採決

賛成多数

原案どおり認めるべきものと決定

### 〔第56号議案〕

敦賀市こどもの国（屋内プレイエリア）リニューアル展示設計・製作業務委託契約の件

## 質疑

**問** 落札した株式会社トータルメディア開発研究所のこどもの国類似施設等での実績について伺う。

**答** 沖縄こどもの国ワンダーミュージアムリニューアル基本計画策定業務や奄美海洋展示館リニューアル設計施工業務において、展示内容の改修などの事業を行っている。また、県内では、福井県立歴史博物館や福井県ふるさと文学館、福井市立郷土歴史博物館、御食国（みけつくに）若狭おぼま食文化館、美浜町エネルギー環境教育体験館「きいばす」での事業実績がある。

**問** 水槽展示の方法についてはどのように決めていくのか。

**答** 市民対象のワークショップを行うことを契約の要件としているため、市民の意見を聞きながらしっかりと設置方法を決めたいと考えている。

**問** ワークショップはいつごろに行うのか。

**答** 12月に開催したいと考えている。ワークショップの中で改善点が出てきた場合であっても、今回示した契約金額の中で工夫していきたい。

## 討論

**賛成** ワークショップにて市民の声を聞きながら、より良いものにしていくとのことだったので期待したい。

## 採決

全会一致

原案どおり認めるべきものと決定

### 〔請願第2号〕

訪問介護の基本報酬の引き下げ撤回と介護報酬の引き上げの再改定を早急に行うことを求める請願

## 討論

**反対** 介護保険制度をどうやって維持していくか、全体を見て話し合った上での改善が必要となるため、一部の報酬を引き上げることは反対である。

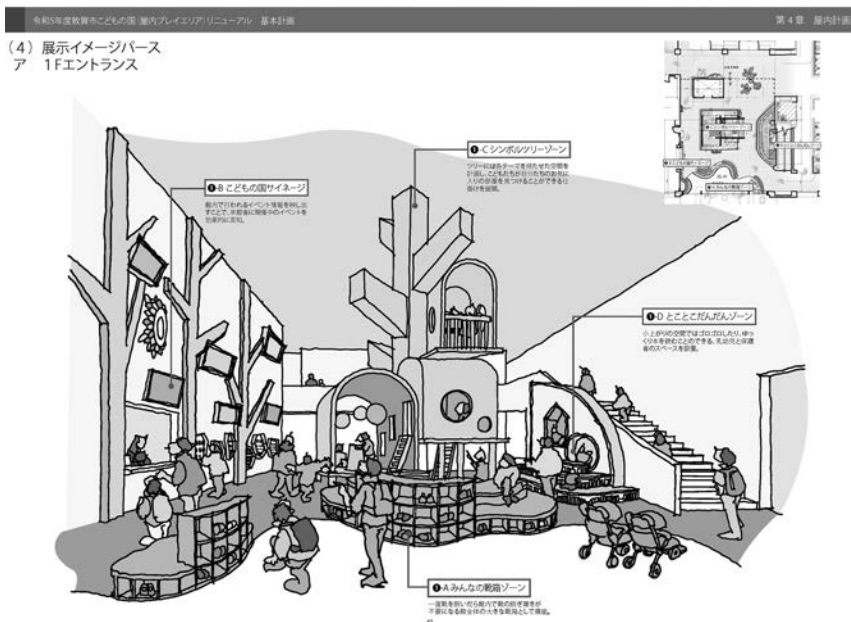
### 賛成

人材が不足する中で、働く人がいなくなったら事業を継続できなくなってしまう。老後も安心して地域で住み続けられるよう、介護事業所の経営を守って残していくことが大事である。

## 採決

賛成少数

不採択とすべきものと決定



▲こどもの国（屋内プレイエリア）リニューアル基本計画より  
展示イメージパース（1Fエントランス）  
※基本計画は、市ホームページから閲覧できます。



## 行政視察報告

### 総務民生常任委員会（10月16日～18日）

総務民生常任委員会では、10月16日～18日にかけて、行政視察を行いました。

1日目は鹿児島県鹿児島市の南部清掃工場を視察し、バイオガス発電の仕組みやDBO方式のメリットなどを調査しました。令和8年度完成予定の敦賀市の清掃センターにおいても、同方式を採用して整備を進めており、今回稼働中の南部清掃工場の視察は今後の参考になりました。

2日目は鹿児島県出水市で環境センターエネクリン北薩と地域新電力（自治体新電力）による取り組みと計画についての説明を受けました。出水市はエネルギーの地産地消を推進するために地域エネルギー会社を設立、運営して実績を上げています。今後敦賀市にも取り入れられないか研究が必要です。

3日目は福岡県福岡市で、午前に公民連携ワンストップ窓口「mirai@」と、勤務間インターバル、男性育休取得100%の取り組みについて、午後からは地域ポイント事業「ふくおかポイント」についての説明を受けました。福岡市では公民連携ワ

ンストップ窓口「mirai@」を開設し、民間事業者と福岡市の各部署とをつなぎ、民間提案の受付、情報発信等を一元的に行い、サポートしています。また、職員の働き方の改革では、勤務間インターバルと男性育休取得100%の取り組みの宣言をし、改革に取り組んでいます。市民に向けては地域のボランティア等への参加を促すため「ふくおかポイント」を導入し、地域活動への市民参加を促進しています。

今後も敦賀市への提言のため研究していきます。



鹿児島市「南部清掃工場」見学の様子

### 産経建設常任委員会（10月16日）

産経建設常任委員会では、敦賀市で検討中である（一社）敦賀観光協会と、港都つるが（株）の統合について今後の参考にするため、10月16日に、岐阜県多治見市と、（一社）多治見市観光協会の行政視察を行いました。

多治見市では、2022年に（一社）多治見市観光協会と多治見まちづくり（株）（多治見TMO）と（株）華柳を統合し、行政支援及び市民の協力を得て、観光地域づくり法人（DMO）として新たな（一社）多治見市観光協会（愛称「たじみDMO」）が設立されました。

たじみDMOはこれまで実施している事業に対する公平性が保たれない状況を踏まえ、会員制を廃止し、市から受託した駅北立体駐車場管理の収益等を自主財源として運営しています。

また、株式会社解散時の配当金の一部寄付により空き店舗対策の基金を創設しています。

たじみDMOは、「情報・データの収集、サポート事例を多くつくる、行政のパートナーとしての成果、ビジョンの地域との共有、地域での持続的

活躍」を念頭に活動されていました。

今回の視察で伺った自主財源や観光協会の会員制廃止、行政と観光協会の連携等を参考に敦賀市への提言のため研究していきます。



多治見市での視察

多治見DMOでの視察





特別委員会とは、特定の案件について集中的に審査する必要がある場合に、議会の議決によって設置される委員会です。

原子力発電所  
特別委員会

関西電力株式会社関係

質疑

問 ロードマップの見直しについて住民に説明をするようにとのことだが、この住民とは敦賀市民も含まれているのか。

答 敦賀市民も含めてである。

その他の関係

質疑

問 第6回福井県・原子力発電所の立地地域の将来像に関する共創会議の中で、市長から地域医療施設の更新等について支援することを求めたとあるが、どのようなことを想定しているのか。

答 地域医療施設の更新について、今後の市立敦賀病院の取扱いが決まっていらないが、老朽化が進んでいるということ踏まえて、原子力防災のインフ

ラ充実といった中で支援いただけるのであれば、市立敦賀病院にとどまらず、嶺南地域の各医療機関にも財源措置をしてほしいということを想定して申し上げた。

問 原子力災害時に備えた避難道路の整備や調査の実施等を国や電力事業者の主導の中で進めることを求めたとあるが、具体的にはどういうことか。

答 県が国の補助を受けて、敦賀高島間の連絡道路及び美浜高島間の連絡道路の調査業務を始めている。県も事業者を募集している段階であるため、具体的な方向はまだ決まっていないうが、仕様を見る限り、それぞれ単独の道路の事業効果を調査することになっている。その調査結果を踏まえた上で、県の方針が決まってくると思う。

問 敦賀高島間と美浜高島間の2本の道路を整備するとなるとかなりの費用になる。互いに協力し合う考えはあるか。

答 まずは調査で事業効果を確認してから判断になるかと思う。

問 敦賀発電所2号機原子炉設置変更許可申請に係る状況等の報告の中で、

審査の状況や今後の対応について、市民への丁寧な情報発信に努めることを求めたとあるが、丁寧な情報発信とは具体的にどのようなことか。

答 敦賀発電所2号機の審査状況や今後について、原電の広報紙などの手段を使って分かりやすく丁寧に説明いたしたいという趣旨である。

問 市民が不安にならないよう、広報紙以外の手段も使って丁寧な情報発信をすべきだと思うが、市としての考えは。

答 広報紙の配付や全戸訪問などを行われているので、その中で丁寧な説明と情報発信に取り組んでほしいという思いもある。市民に説明できる機会というところについては、原電として検討するよう市からも申し上げたい。

新幹線開業後まちづくり  
特別委員会

敦賀まちづくり協議会について

報告 9月2日に開催した第2回協議会における、アクションプログラム策定等に関する議事内容の協議結果につ

いて報告があった。また、今後のスケジュールとしては、分科会にてアクションプログラム案のための意見集約を行ったのち、12月開催予定の幹事会にてアクションプログラムをとりまとめ、来年1月の協議会において承認された後、策定・公表予定であると併せて説明があった。

質疑

問 屋台ラーメン街道の復活とあるが、対象は本町商店街か。

答 本町商店街だけでなく、駅前商店街も含めて考えている。

問 氣比の杜に関して、文教エリアとする方針を尊重したいという意見があり、例示として美術館が挙げられているが、そのほかに施設の候補として挙げられているものはあるのか。

答 地元の方からは、防災的な機能や公民館などの機能も併せて検討してほしいという意見も伺っている。

問 氣比の杜については、期待を背負うエリアであるため、分科会や地元から様々な意見が出されており、県と市、また市の内部でも所管が複数の部局にまたがるため、かなり調整が大変だと

考えるので、リーダーシップをとって進めていただきたいと思うが、今後の進め方についてどのように考えているか。

**答** 氣比の社は、大きな方向性として文教エリアで進めることについておおむね合意が得られていると考える。地域の人の意見も盛り込んだ具体的な内容については、新年度に入ってから関係者との協議もしながら議論をしていきたい。

### 新たなまちづくり会社について

**説明** 港都つるが株式会社と一般社団法人敦賀観光協会を一体化し、新たなまちづくり会社（仮称）株式会社港都つるが観光協会を設立し、効率的な事業推進体制を構築する方針及びその組織案について説明があった。

### 質疑

**問** 新たな組織を株式会社とすることは決まっているのか。株式会社とする必要性について伺う。

**答** 港都つるが株式会社を母体として株式会社形式を採用することを検討し

ている。会社として収益を上げていただき、まちづくりに再投資いただくことを狙って、株式会社とするほうが、今後、多方面で事業を進める上で有利であると考ええる。

**問** 今回のような観光協会とまちづくり会社の合併について、先進事例や参考になっている事例はあるか。

**答** 県内では、まちづくりの面では株式会社まちづくり小浜や、まちづくり福井株式会社、観光の面では勝山市観光まちづくり株式会社を参考にさせていただいている。

### 金ヶ崎周辺整備について

**説明** 金ヶ崎周辺魅力向上デザイン計画の公表以降に生じた変更点を反映した、新たな金ヶ崎エリアの平面図、鳥瞰図、イメージパース等が提示され、概要について説明があった。臨港道路の内側の集客施設については民間事業者が整備に向けて事業内容を検討しており、行政が整備する臨港道路の外側の公園や駐車場部分については、今後、基本計画を取りまとめたのち、基本設計を実施する旨、併せて説明があった。

### 質疑

**問** 金ヶ崎エリアに現在ある駐車場がなくなり、新たな駐車場が整備されることになるが、駐車台数はどれぐらい増減があるのか。

**答** 現状の駐車場の台数は130台、140台程度あると考えるが、今後整備する駐車場はおおむね400台程度の駐車台数を見込んでいる。

**問** イベント広場は民間事業者による整備となるが、今まで緑地公園についてはイベントなどで自由に使用していたところ、今後イベント広場を使う際には使用料が発生したりするのか。

**答** 現在の緑地公園は市民利用が非常に多いことは承知している。行政の整備部分に新たな公園を整備することに加えて、イベント広場についても、市民の方に今よりも使っていただけの施設となるよう、費用の面も含めて民間事業者と協議していきたいと考えている。

議会だよりはスマホでもご覧いただけます

自治体広報紙を配信する無料アプリ「マチイロ」から議会だよりを閲覧できます。

### 閲覧の流れ

マチイロをダウンロードし、住んでいる地域として「敦賀市」を登録すると、議会だより発行のお知らせがスマートフォンまたはタブレット端末に届き、アプリで読むことができます。

### 利用上の注意

- ・マチイロは、株式会社ジチタイワークスが作成したものです。
- ・アプリ閲覧中表示される広告の内容については、市は一切責任を負いません。
- ・アプリのダウンロードや閲覧による通信料は利用者負担となります。



# マチイロ

マチを好きになるアプリ



## 項目一覧

### ◎豊 田 耕 一

- 1 ひとりの市職員の逝去について

### ◎縄 手 博 和

- 1 教育長の教育ビジョンについて
- 2 小学校の校庭にある遊具等について

### ◎大 塚 佳 弘

- 1 敦賀市国土強靱化地域計画からの取り組みについて
  - (1) 敦賀市国土強靱化地域計画の年度評価と改訂の進め方
  - (2) 各基本目標（政策分野）の主要（脆弱性）評価の確認と課題
- 2 安定的な上下水道機能確保の取り組みについて
  - (1) 公共下水道ストックマネジメント事業の現状
  - (2) コンセプション方式（ウォーターPPP）の導入課題（提案）
- 3 敦賀市の「こどもまんなか社会」の取り組みについて
  - (1) こども家庭庁発足と「こども基本法」の確認
  - (2) 「こども大綱」を勘案した敦賀市の「こども計画」の策定確認

### ◎北 條 正

- 1 歴史的遺跡の調査と保存について
  - (1) 戦争遺跡の調査と保存
  - (2) 玄蕃尾城跡の調査と保存
- 2 ハラスメント対策について
- 3 原子力政策と広域連携について

### ◎吉 田 隆 昭

- 1 西公民館の建設について
- 2 津波ハザードマップについて
- 3 地域公共交通計画について
- 4 水道管の漏水調査へのAI導入について
- 5 押しボタン式信号機の設置について

### ◎三田村 峻

- 1 学校教育について
- 2 少子化対策について
- 3 乳幼児のワクチン接種について

### ◎馬 淵 清 和

- 1 休日の部活動の地域移行について
- 2 敦賀港の特定利用港湾の指定について

### ◎高 城 庄 佑

- 1 敦賀市の教育について
  - (1) 情報活用能力の充実（ICT教育の充実）
  - (2) 伝統や文化に関する教育の充実（ふるさと教育の充実）
  - (3) 敦賀市の教育の方向性と独自性
- 2 医療機関の再編について
  - (1) 市立敦賀病院の経営状況とこれからの展望
  - (2) 医療機関の再編を現実のものとするために

### ◎松 宮 学

- 1 中池見湿地について
- 2 障がい者支援入所施設について
- 3 日本原子力発電所敦賀2号機について

### ◎山 本 貴美子

- 1 マイナ保険証について
- 2 障がいのある子どもの放課後等支援について
  - (1) 放課後デイサービス
  - (2) 放課後児童クラブ
- 3 特定利用港湾の指定について

### ◎橋 本 彬 穂

- 1 ボトル給水型冷水機の公共施設への設置と学校への設置について
- 2 電子契約・電子請求サービスについて
- 3 デジタル商品券復活について

### ◎河 瀬 太 治

- 1 敦賀発電所について
  - (1) 敦賀発電所2号機
  - (2) 敦賀発電所3・4号機
- 2 敦賀まつりについて
  - (1) 去年からの改善点
  - (2) 今後の改善点
- 3 白銀神社の火まつりについて
- 4 イベント開催日のリラ・ポートの営業について
- 5 歴まち都市への参画について

### ◎籠 太一郎

- 1 今後の介護福祉の在り方について その6
  - (1) 要介護・要支援認定の効率化
  - (2) ケアマネジャーの実情と課題
  - (3) 介護分野におけるICTの活用
  - (4) 紙おむつでのSDGs推進策
- 2 今後の森林環境譲与税の在り方について
  - (1) 歳入実績及び活用実績
  - (2) 敦賀市独自の再エネ等事業策
  - (3) デジタルを活用した森林管理策

### ◎大 石 修 平

- 1 敦賀まつりの宵山巡行について
- 2 町内会への支援について

### ◎中 道 恭 子

- 1 女性の視点からの防災対策について
  - (1) 本市における「福祉的な支援」
  - (2) 避難所のトイレ環境
  - (3) 学校体育館の空調設備
  - (4) 学校、保育園等の防災備蓄品
  - (5) 男女共同参画の視点からの防災対策
  - (6) 気象防災アドバイザーの活用
- 2 おくやみ窓口の設置と終活支援について
  - (1) おくやみ手続きの支援と窓口の設置
  - (2) 終活支援の取り組み





豊田耕一  
(市民クラブ)

## ひとりの市職員の逝去について

**問** ひとりの市職員が自ら命を絶つという哀しい決断をされたことは、これまでの市行政の中において、最も大きな出来事であると考えますが、市長の所感を伺う。

**答** 市としてどうにかして防ぐことができなかったのか、無念の思いしかない。この無念を深く胸に刻み、今後の職場づくりに生かしていくことが、自分の使命であると強く感じている。

**問** 私は、ひとりの市職員の逝去とずっと向き合っていくが、市も、ひとりの市職員が逝去した事実を「なかったこと」にして欲しくない。そして、ご遺族は、丁寧で真摯な内部調査、及び可能な限り早い調査報告を求めているが、市長の考えを伺う。

**答** 「なかったこと」には決してできないという思い。今の思い、無念さは胸に刻んで忘れることはないと感じている。今後は、ご遺族と十分に相談をしながら、真摯に対応していく。



縄手博和  
(市政会)

## 教育長の教育ビジョンについて

**問** これから熱中症対策をどのように行っていくのかお聞きする。

**答** 学校での熱中症対策については、文部科学省や県教育庁保健体育課の通知を周知して、全ての小中学校で同一歩調で実施をしている。今年度は小中学校体育館へ空調設備導入を進めている。

## 小学校の校庭にある遊具等について

**問** サッカーゴールが腐食して危ないので取り替えてほしいという要望がある。

**答** 栗野南小学校のサッカーゴールを確認したところ、腐食が進み状態が悪いことが確認されたので、更新する方向で対応する。また、敦賀南小学校も更新の方向で検討する。



大塚佳弘  
(公明党)

## 安定的な上下水道機能確保の取り組みについて

**問** 地元の水道事業の皆さん等の意見を聞く中で、体制の構築をお願いし、ウォーターPPPの今後の導入計画について伺う。

**答** 下水道施設と料金窓口の業務委託が令和9年度末で終了することから、現時点では令和10年度からの事業開始を目標としている。

## 敦賀市の「こどもまんなか社会」の取り組みについて

**問** 敦賀市としても「こども計画」を作成していくということで、今後の策定に期待する市長の所見を伺う。

**答** 保護者の皆さんにとっては住みやすく、子育てしやすい環境を、子供たちは当たり前のように伸び伸びと、生き生きといたただける環境、そして生きづらさを抱えることなく自己実現の道を進める環境を、敦賀市として総体的に提供していきたいと考えている。



北條 正  
(嶺正会)

## 歴史的遺跡の調査と保存について

**問** 敦賀連隊の遺跡は敦賀市にとつて少ない戦争遺跡とも言える貴重な語り部であり、来年戦後80年を迎えるに当たり、どう残していくか検討する時期に来ていると思うが、御見解をお伺いする。

**答** 敦賀連隊は、明治31年から敦賀市金山に駐屯し終戦まで存続しており、歩哨舎などが良好な状態で現在までに伝えられ、開発などにより失われるおそれのあるものについては、調査し記録を残す必要があると考えている。

**問** 敦賀市の指定の文化財にすべきと考えるが、御見解をお伺いする。

**答** 敦賀連隊は、敦賀の歴史を語る上で必要な遺跡と考えている。歴史的価値を明確にしてから、市の文化財として指定していくべきと考えている。



吉田隆昭  
(無所属)

## 西公民館の建設について

**問** 7月に決まった新西公民館の基  
本計画が広く知られていない。計  
画内容や公民館の特徴を知りたい。

**答** 鉄筋コンクリート3階建てで、  
令和9年夏ごろの完成を目指す。  
笹の川に近いため浸水に備え、ホールや  
備蓄倉庫、電気室を3階以上に配置する。  
外から避難できる屋外階段や屋上の避難  
スペース、防水シャッターも整備する。

## 津波ハザードマップについて

**問** 津波ハザードマップは分かりに  
くい点があるので説明会では問題  
点や注意点をしっかり伝えてほしい。車  
での避難をルール化する考えはないのか。

**答** 説明会では、海岸や川に沿った  
場所から直ちに離れ、徒歩ででき  
るだけ高い所への避難を呼び掛けている。  
エリアごとに自動車での避難ルートを定  
めることは難しいと考えるが、状況によ  
っては車での避難が必要な場合もあり、  
これから考えていかなければならない。



三田村峻  
(峻正会)

## 少子化対策について

**問** 結婚や出産に関しての判断は個  
人の自由であるにも関わらず婚活  
セミナー等において、行政が結婚と出産  
を紐付けていると捉えられかねないよう  
な年齢、性別の制限をどうして付すのか。

**答** 誤ったメッセージとなりかねな  
いのはその通りであり、今後、市  
で実施する結婚支援は年齢要件を設け  
ず、幅広く支援を行う。

## 乳幼児のワクチン接種について

**問** コロナワクチン以降、コロナ以  
外も含めワクチンの危険性を過剰  
に煽るような言説が多く見受けられるが  
本市の乳幼児のワクチン接種の状況はい  
かがか。

**答** 小児用肺炎球菌、水痘、日本脳  
炎など多くのワクチンでコロナ禍  
前後で接種率に顕著な差はない。今後も  
周知啓発に努めていく。



馬淵清和  
(市政会)

## 休日の部活動の地域移行につ いて

**問** 休日の部活動が地域移行になれ  
ば、学校で行われている活動とど  
う変わるのか。

**答** 学校の管理下から各団体の管理  
下で実施し、毎月の土日どちらか  
1回、月4回となる。

**問** 公立中学校では、いつからどの  
競技を地域移行するのか。

**答** 令和8年度から軟式野球、ソフ  
トボール、柔道、剣道、ソフトテ  
ニス、バレーボール、吹奏楽が移行とな  
る。

**問** 部活動が無料から有料化され保  
護者の負担が重くなるので市で一  
部負担すべき。

**答** 枠組みは定まっていらないが、実  
証実験や県、他市町の動向も踏ま  
えながら検討する。



高城庄佑  
(市政会)

## 医療機関の再編について

**問** 第3次中期経営計画の中で、「他  
医療機関との合併を含めた新たな  
経営形態の可能性を検討する」と踏み込  
んだ表現が盛り込まれた背景は。

**答** コロナ禍を経て患者数が大きく  
減少しており、いまだ回復が見ら  
れない。また、当院の医療圏における人  
口は減少が続いており、今後の医療需要  
は減少が見込まれる。さらに、人手不足  
による医療従事者の確保が徐々に困難と  
なる上に、医師の働き方改革新制度が施  
行されるなど多くの課題を抱え、その課  
題に対応する一つの選択肢として踏み込  
んだ表現を記載した。

**問** 医療機関の再編を特別に話し合  
う場を設けることはしないのか。

**答** まずは、医療機関ごとの連携強  
化をやりつつ、地域医療構想調整  
会議等で議論し、関係者、市民間で慎重  
にコンセンサスを図りながら進めてい  
く。



松宮 学

(日本共産党  
敦賀市会  
議員団)

## 中池見湿地について

問

中池見ねつとの皆さんがビジュアルセンター内で湿地にいるいろんな種類の魚の水槽での展示や中池見湿地の環境を守り維持するためにも大事な湿地でのミニ田んぼのコメの耕作に対して敦賀市は使用料を徴収しているが、免除できないか伺う。

答

NPO法人の自主的な活動の使用のために徴収することは必要。公共性について合致する部分もあるので使用料5割減免している。免除は考えていない。

問

バリアフリーの社会づくりが叫ばれる昨今、中池見のスロープカーは、バリアフリーの役目をしている。スロープカーの停止は社会の流れから逆行している。運行再開を求めるが見解を伺う。

答

スロープカーの運行再開は考えていない。連絡をいただければ自動車で入場出来る対応をしている。



山本貴美子

(日本共産党  
敦賀市会  
議員団)

## 障がいのある子どもの放課後等支援について

問

放課後デイサービスでは、人材不足など困難を抱えているが、敦賀市として支援すべきではないか。

答

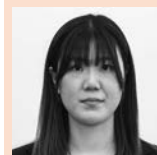
障害児の通所支援事業所が、今年度から自主的に連絡会を開催しており、今後、情報共有や意見交換により、課題解決の方法など検討されると期待している。敦賀市では、敦賀市地域自立支援協議会の療育部会において、こうした取組を踏まえた意見交換を重ね、市としてできることを支援していきたい。

問

放課後児童クラブでは、障がいのある子どもを受け入れており、共に成長し合えるインクルーシブ保育が求められる。専門的知識をもつ職員の配置や巡回相談員の育成が必要と考えるが、

答

障害児への接し方など随時、子ども家庭相談室の臨床心理士に相談しており、今後も相談しやすい体制整備に努めたい。巡回相談員については、国や他市町の動向を確認したい。



橋本彬穂

(無所属)

## ボトル給水型冷水機の公共施設への設置と学校への設置について

問

昨年同様、今年も猛暑が続く熱中症警戒アラートが何度も発令されていることや感染症への心配や不安から、熱中症対策や感染症防止対策を考慮した非接触型であるボトル給水型冷水機を公共施設に設置することについての市の見解は。

答

熱中症予防の効果は期待できるが設置や維持管理に要する費用などの課題もあり、現時点では設置は考えていない。

問

子供たちが安心していつでも水分補給できるように小中学校へ設置する考えはないか。

答

現時点では設置する計画はないが、学校とともに必要性も含め研究する必要があると考えおり、県の対応についても注視していきたいと考えている。



河瀬太治

(市政会)

## 敦賀まつりについて

問

昨年、一般質問させて頂いたが、改善点をお聞きしたい。

答

期間中のごみ収集業務の実施、仮設トイレの増設、民謡踊りの夕べで提供する飲料のお茶の割合を増やし水も提供した。

問

ごみの分別の為に有人ブースを設置できないかお聞きしたい。

答

有人のごみ回収ブースの設置については、人員配置の課題もあるので、本年のやり方を継続したい。

問

仮設トイレの増設についてお聞きしたい。

答

トイレの設置については、周辺住民や関係者との協議が必要となる。引き続き適切な設置箇所や増設について議論していく。併せて会場周辺の事業者や施設に相談し、案内も強化していきたい。





籠太 一朗  
(無所属)

## 今後の介護福祉の在り方について その6

**問** 若い世代のケアマネージャーをどう増やすか。

**答** 若い世代に参加して頂くことが非常に大切と考え、本市において新たにケアマネージャー職に入って頂けるような工夫をして努めてまいりたい。

## 今後の森林環境譲与税の在り方について

**問** 森林保全に関する取り組みが少ないのでは。

**答** 全国的に人手不足の中、特に1次産業である林業については厳しい状況下である。しかし、森林の保全は防災や脱炭素社会の実現に重要であることから、国や県の補助制度に加え、森林環境譲与税を財源に、デジタル技術も活用しながら効率的な事業を行っていききたい。



大石 修平  
(市政会)

## 敦賀まつりの宵山巡行について

**問** 神楽の宵山は文化的価値が高いとのことだが、市の文化財への指定に向けて、検討すべきではないか。

**答** 過去の調査報告を受けて、敦賀市文化財保護審議会において検討を始めている。本年度は民俗文化財としての側面であるおやしについても調査を行い、審議会とも調整しながら宵山の文化財指定に必要な調査を進めたい。

## 町内会への支援について

**問** 若狭町の事例のように、新たな負担を伴うことなく町内会の財源を増やすような仕組みを創出できないか。

**答** デジタルの力を活用して、はぴコインのようなものをこれからどう使っていくかは課題であると思っております。しっかりと研究してまいりたい。

また、各区向けの既存の各種補助制度を活用いただけるよう情報提供を行うとともに、より使いやすくなるなどの見直しを区長連合会とも協議していききたい。



中道 恭子  
(公明党)

## 女性の視点からの防災対策について

**問** 能登半島地震の教訓から、国は防災基本計画を見直し、福祉的な支援と保健衛生環境の整備を盛り込んだが、本市における災害時のトイレ環境整備について伺う。

**答** 災害用マンホールトイレは、平成24年度から整備し、17施設に88基、今年度は2か所に3基を整備予定である。その他、組立て式仮設トイレ41台、組立て式便座679個、排便収納袋5400枚。携帯トイレ1638個を備蓄している。

## おくやみ窓口の設置と終活支援について

**問** おくやみ窓口を設置し、御遺族の支援をしていただきたい。

**答** 様々な課題があり、ワンストップ窓口の設置は難しいが、御遺族等を担当の職員が必要な窓口に御案内するサポート形式での実施を検討している。

### ★★議会だよりアンケートにご協力お願いします★★

今後の紙面構成の参考にさせていただきますので、以下のQRコードよりご協力をお願いいたします。



みなさんのご意見をお聞かせください。



令和6年6月26日以降の主な議会活動の紹介です。

7月

3日(水) 議会運営委員会行政視察(～5日)  
22日(月) 広報広聴委員会  
25日(火) 常任委員会インターネット配信検討ワーキング

8月

7日(水) タブレット導入検討ワーキング  
20日(火) タブレット導入検討ワーキング  
21日(水) 広報広聴委員会  
23日(金) 常任委員会インターネット配信検討ワーキング  
29日(木) 広報広聴委員会  
30日(金) 議会運営委員会

9月

6日(金) 議会運営委員会、全員協議会、本会議(開会)  
9日(月) 予算決算常任委員会全体会・分科会(補正予算)  
17日(火) 本会議(一般質問)  
18日(水) 本会議(一般質問)  
19日(木) 本会議(一般質問)、議会運営委員会  
20日(金) 総務民生・産経建設・文教厚生常任委員会  
24日(火) 原子力発電所特別委員会  
25日(水) 新幹線開業後まちづくり特別委員会、広報広聴委員会  
30日(月) 予算決算常任委員会全体会(決算基本質疑)

10月

1日(火) 予算決算常任委員会分科会(決算審査)  
4日(金) 予算決算常任委員会全体会(採決)、各派代表者会議、広報広聴委員会  
9日(水) 議会運営委員会、全員協議会、本会議(閉会)  
16日(火) 総務民生常任委員会行政視察(～18日)、産経建設常任委員会行政視察  
21日(月) 議会運営委員会  
24日(木) 広報広聴委員会  
29日(火) 福井県市町議会議員合同研修会

11月

5日(火) 議員研修会、ハラスメント防止研修  
6日(水) 文教厚生常任委員会(所管事務調査)  
7日(木) 広報広聴委員会  
11日(月) 文教厚生常任委員会行政視察(～13日)  
15日(金) 議会報告会  
16日(土) 議会報告会  
18日(月) 議会運営委員会、出前議会報告会  
19日(火) 福井県市議会議長会議員研修会



敦賀市議会ホームページに  
アクセス!

以下のような情報を公開しています

- ・過去(令和2年から)の本会議の映像
- ・議員について
- ・議会について
- ・議会報告会について
- ・議会だより

[https://www.city.tsuruga.lg.jp/about\\_city/parliament/shigikai\\_top.html](https://www.city.tsuruga.lg.jp/about_city/parliament/shigikai_top.html)

敦賀市議会 検索

電話: 22-8157  
Eメール: gikai@ton21.ne.jp  
住所: 敦賀市中央町2丁目1番1号  
発行所: 敦賀市議会  
委員長: 大川 耕一  
副委員長: 河瀬 太一  
委員: 橋本 彬、三村 武、中山 貴志、山本 恭子  
広報広聴委員会

編集委員



## 12月定例会の日程(予定)

11 November ~ 12 December 2024

| Sun   | Mon        | Tue                    | Wed                 | Thu                 | Fri                | Sat |
|-------|------------|------------------------|---------------------|---------------------|--------------------|-----|
| 11/17 | 18         | 19<br>告示日              | 20                  | 21                  | 22                 | 23  |
| 24    | 25         | 26<br>本会議<br>(議案説明・質疑) | 27<br>予算決算<br>常任委員会 | 28                  | 29                 | 30  |
| 12/1  | 2          | 3                      | 4<br>本会議<br>(一般質問)  | 5<br>本会議<br>(一般質問)  | 6<br>本会議<br>(一般質問) | 7   |
| 8     | 9<br>常任委員会 | 10<br>特別委員会            | 11<br>特別委員会         | 12<br>予算決算<br>常任委員会 | 13                 | 14  |
| 15    | 16         | 17<br>本会議<br>(報告・採決)   | 18                  | 19                  | 20                 | 21  |
| 22    | 23         | 24                     | 25                  | 26                  | 27                 | 28  |